

3-2 夫・親の協力関係について

- (1) 妻が再就職するにあたっての「夫」の考えについては、「積極的な理解」が66%、25%は「家事・子育てに支障がなければ」という条件付きでの同意であった。

表2-7-1 妻の再就職に対する夫の理解度について

			積極的な理解	家事・子育てに支障がないことを条件に同意	他の条件つきで同意	理解を得られなかった	その他(※)
全体 (n=247)	人数(人)		164	62	3	3	15
	%		66%	25%	1%	1%	6%
再就職の回数	はじめての再就職 (n=123)	人数(人)	79	31	1	2	10
		%	64%	25%	1%	2%	8%
	2回目以降の再就職 (n=124)	人数(人)	85	31	2	1	5
		%	69%	25%	2%	1%	4%

(※) その他は、夫の考えがわからないなど。

- (2) 再就職後の夫の家事育児分担の変化については、「家事・育児に以前から参加している」「再就職を機に、多く参加するようになった」という夫の協力を得られている立場が約6割で、「夫は家事・育児に参加したいと思っているが、仕事等が忙しくてできない」「家事・育児に、ほとんど参加しない」という夫の協力を得られない立場が約4割になっている。妻の再就職に夫の積極的な理解がある場合では夫の協力が約7割となるが、夫の積極的な理解が得られない場合では約3割の協力にとどまっている。

表2-7-2 妻の再就職に対する夫の理解度と家事育児分担の変化について

			以前から参加	再就職を機に多く参加	仕事等が忙しい	参加しない	関わってほしくない
夫同居 (n=247)	人数(人)		74	70	45	56	2
	%		30%	28%	18%	23%	1%
夫の理解	積極的な理解あり (n=164)	人数(人)	65	51	27	20	1
		%	40%	31%	16%	12%	1%
	積極的な理解なし (n=83)	人数(人)	9	19	18	36	1
		%	11%	23%	22%	43%	1%

(3) 再就職当時の家族構成については、「夫同居」が63%、「夫非同居」が37%であった。さらに「夫同居」では「親同居」は13%に過ぎないが、「夫非同居」では「親同居」が68%となっている。

表2-7-3 再就職女性の家族構成について

	夫同居		夫非同居	
	親と非同居	親と同居	親と非同居	親と同居
全体(人) (n=391)	216	31	46	98
%	63%		37%	
	87%	13%	32%	68%

(4) 再就職当時の子どもの人数は平均1.4人であり、未就学の子ども（末子）の預け先は認可保育園が60%であった。認可保育園以外の預け先は、認可外保育園が16%、親に預けたが11%、事業所内託児施設が10%、保育園が6%であった。

表2-7-4 子どもの年齢別の預け先の状況について（複数回答）

		子どもの預け先						(参考) 子どもの 平均人数	
		認可保育園	認可外保育園	親	事業所内 託児施設	幼稚園 (※)	夫		
全体 (n=198)	人数	119	32	22	19	12	1	1.7人	
	%	60%	16%	11%	10%	6%	1%		
子どもの 年齢	末子が2歳以下 での再就職 (n=108)	人数	61	23	12	12	0	1	1.4人
		%	56%	21%	11%	11%	0%	1%	
	末子が3~5歳 での再就職 (n=90)	人数	58	9	10	7	12	0	1.6人
		%	64%	10%	11%	8%	13%	0%	

※ 幼稚園利用の12人の内訳としては、「親に預けた」と重複して回答したものが6人、認可外保育園と重複して回答をしたものが1人、事業所内託児施設と重複して回答したものが1人であった。また、調査票への自由記入から、幼稚園の「預かり保育（延長保育）」を利用したものが3人、幼稚園が勤務先であったものが1人であった。

(5) 「夫同居」の場合と「夫非同居」の場合とによって子どもの預け先を比べると、認可保育園は「夫同居」では56%、「夫非同居」では69%の利用であるが、「認可外保育園」は「夫同居」では21%で「夫非同居」では5%であった。また、「事業所内託児施設」は「夫同居」では11%で「夫非同居」では5%であった。また、「事業所内託児施設」の利用する割合は夫同居が高く、「親に預けた」割合は夫非同居が高かった。

表2-7-5 未就学の子どもの預け先について（複数回答）

			子どもの預け先					
			認可 保育園	認可外 保育園	親	事業所内 託児施設	幼稚園	夫
夫 同居 の有 無	夫同居 (n=140)	人数	79	29	11	15	11	1
		%	56%	21%	8%	11%	8%	1%
	夫非同居 (n=58)	人数	40	3	11	3	1	0
		%	69%	5%	19%	5%	2%	0%

(6) 子どもの急病時に頼った協力者は、「親」が59%、「夫」が25%、「頼る人はいなかった（自分が休むを含む）」が24%であった。妻の再就職に夫の積極的理解がある場合には「夫」に頼るとの回答が45%、夫の積極的理解がない場合には「夫」に頼るとの回答は29%であった。

表2-7-6 子どもの急病時に頼った協力者について（複数回答）

		親	夫	親類	友人・隣人	ベビーシッター(保育ママを含む。)	病児 保育	頼る人はいな かった。(自分 が休むを含 む。)
		(全体) (n=391)		230人 59%	97人 25%	21人 5%	36人 9%	8人 2%
妻の 再就 職へ の 夫の 理解	積極的 理解あり (n=164)	91 55%	73 45%	3 2%	20 12%	5 3%	4 2%	45 27%
		46 55%	24 29%	7 8%	10 12%	6 7%	1 1%	20 24%
	積極的 理解なし (n=83)	46 55%	24 29%	7 8%	10 12%	6 7%	1 1%	20 24%
		46 55%	24 29%	7 8%	10 12%	6 7%	1 1%	20 24%

(7) 未就学の子どもがいる場合に限ると、子どもの急病時に頼った協力者は、「親」が72%、「夫」が30%、「頼る人はいなかった（自分が休むを含む）」が26%となり、子どもが小さい時期の「親」の役割が増大している状況がうかがわれる。

(8) 子どもの急病時の「親」の役割を「夫同居」と「夫非同居」とで比べると、「夫非同居」では「夫同居」よりも親に頼る割合が15ポイント高く、「親」の重要性が見てとれる。一方、「夫同居」の場合でも「親」に頼る割合は高く、子どもの急病時の対応では「親」の協力が依然として重要である。

表2-7-7 未就学の子どもの急病時に頼った協力者について（複数回答）

		親	夫	親類	友人・隣人	ベビーシッター(保育ママを含む。)	病児保育	頼る人はいなかった。(自分が休むを含む。)
末子が未就学 (n=198)		143人	59人	12人	21人	7人	3人	51人
		72%	30%	6%	11%	4%	2%	26%
夫と非同居の別	夫同居 (n=140)	95人	59人	6人	13人	7人	2人	34人
		68%	42%	4%	9%	5%	1%	24%
	夫非同居 (n=58)	48人		6人	8人	0人	1人	17人
		83%		10%	14%	0%	2%	29%